

いざというときに備えて

10日(木)は地域総合防災訓練が行われました。

今回は地震が発生し、1年校舎のボイラー室から出火したという想定で避難訓練を行いました。1年生が最も危険な状況に置かれる想定での訓練でしたが、その分、真剣に訓練に取り組むことができたことと思います。消防署の方からも静かに、かつ速やかに避難ができていたという講評をいただきました。今回は火災の際の煙対策にハンカチなどを用意して臨むこととしていましたが、忘れてきた生徒も何人か見られました。普段から身だしなみの一つとして、常備してほしいと思います。

高所救助訓練の見学では教員が3階からの避難装置で降りる様子を見学しました。大柄なALTのリアム先生も無事に脱出成功。高所からの避難のイメージもつかめたと思います。

初期消火訓練では水消火器を使った消火訓練を行いました。火の下から掃くように水をかけ、近づきながら火を消すことを体験することができました。

煙道体験では煙で一杯になった煙道をくぐり抜けましたが、予想以上に前が見えないことに驚いた様子でした。

消防署の方のお話にもあったように、実際の火災の際は訓練のようなものではないということを心に留めながら、今日の訓練のことを忘れずに活かしてほしいと思います。



おいしい鍋を囲みました

防災訓練の最後は炊き出し訓練も兼ねたなべっこを行いました。

給水車から鍋に水をもらい、ガンガンにまきをくべてお湯を沸かして鍋を作りました。

思ったよりも手際よく調理を進めた班が多く、おいしい鍋を囲んでなべっこをゆっくり楽しんでいました。班で話し合っってメニューを決め、協力し合っって作った鍋の味は格別だったのではないのでしょうか。

うまいかなかったこともあると思います。そこから、水の量や下ごしらえをこうすればよかったという反省も生まれたことでしょう。来年はこの経験を生かして、もっと手際よく、おいしい鍋を作れるのではないかと思います。

各地で台風の被害が続き、長期間に渡る停電も起こっています。非常時には電気やガスに頼らずに調理をすることもできるように、今回、体験したことを忘れないようにしてほしいと思います。

鍋の準備や食材の下ごしらえなど、ご家族の皆様にもたくさんのご協力をいただきました。おかげで楽しいなべっこにすることができました。ありがとうございました。

